

バイオガス発電を学ぶ 高校会議所メンバー会社見学



開業前の朝霧バイオパワーを見学(提供写真)

富士宮高校会議所のメンバーはこのほど、根原でバイオガス発電事業を始める会社・朝霧バイオパワーを訪問し、スタッフから「富士山バイオマス乾式メタン発酵プラント」による再生エネルギー発電事業の仕組みについての説明を受けながら、4月の開業前の状態を見学した。

生ごみを嫌気性発酵させて、発生するメタンを火力にしてタービンを回転させるなどの発電システムに関する話に耳を傾けるとともに、活用する生ごみの種類、経済的な視点、嫌気性発酵と好気性発酵の違いなどについての質問を重ねた。

メンバーは「丁寧な説明で発電システムが理解できた。今後、何か富士宮高校会議所の活動とコラボできないかと思った」と話した。

また、同会議所が開発したりサイクル堆肥「マスマス元肥(げんび)」を製造している会社・富士バイオテック(根原)も見学した。